

謹賀新年

代表取締役社長 瀧澤 利一



読者の皆様には日頃より本誌をご愛読いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は今年、創業80周年を迎えます。

創業以来、工業用シール製品の製造及び販売を手がけ、複合材料や成形加工の難しい高度な材料をいち早く工業化し、日本の産業の発展に素材加工とシール技術とで貢献してまいりました。現在、基幹産業分野から先端産業分野に至るまで、産業基盤を支える事業を展開しております。

この事業領域では、現在も次々と技術革新が行われており、たとえば、半導体分野では、デバイスの微細化を目指した次世代製造装置、エネルギー分野では、再生可能なエネルギーの利用に対する太陽光発電やバイオマス液体燃料、通信分野では、ユビキタス環境の実現に向けた新たなネットワーク技術、さらにはカーボンナノチューブの大量合成による新たな素材などが続々と登場しております。当社は、素材の加工技術やシール技術によってこのような技術革新に深く係わりを持っておりませんが、さらなる技術の高度化や信頼性の向上、並びにこれらの技術を駆使した新製品の開発に対する期待をひしひしと感じております。

こうした中で、当社の事業もグローバルに展開しつつあります。中国に新たな研究開発拠点として「シール上海研究所」を設立し、中国市場に対応した製品の開発力を強化すると共に、現地での垂直立ち上げが出来る体制を構築し、研究開発の基盤づくりを行ってまいりました。

日本経済が再生から成長へと大きく舵を取っていく中で、次の大きな課題であるエネルギー、資源、地球環境、少子高齢化等の問題が大きくクローズアップされてきております。ここに、新たな産業が創出されると同時に、課題も又生まれて来ております。環境との調和を図った社会の持続的成長へ向けて、お客様のニーズを的確に捉え、当社の持つシール技術と材料技術を基に内外のネットワークを連携させ、独創的な技術で社会の発展に寄与してまいりたいと思っております。

年頭に当たり、バルカーテクノロジーニュースが、皆さまの課題解決のお役に立てればと念じております。

最後になりましたが、今後ともより一層のご支援、ご指導をお願いいたしますと共に、皆様方の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

以上